

平成 29 年 3 月 14 日

経営・流通学研究科委員会承認

前期課程研究指導計画書

秋学期入学者

【1 年次】

9 月下旬 入学式後、新入生に対して大学院の課程での研究にあたり、本学が定める倫理規定に基づき、研究者としての倫理の徹底を図り、あわせて研究指導の方針を示す。

1 月下旬 スケルトン報告会に出席させ、スケルトン報告会を参観させる。

7 月下旬 修士論文のスケルトン報告資料の提出とスケルトン報告会を実施する。

【2 年次】

1 月下旬 中間報告会のレジュメの提出と中間報告会を実施する。

→中間報告会の時点で修士論文の 50%の完成度を求める

2 月中旬 中間報告を受けて審査委員会を発足させる。

5 月下旬 修士論文の草稿を提出させる。

修士論文の草稿の提出を受けて各審査委員による予備審査が行われ、審査委員より、主査を通して論文執筆者に対して適宜、書面で論文の修正が求められる。

→予備審査の期間は約 1 カ月

7 月中旬 審査委員は論文執筆者の修正を確認したうえで、修士論文を提出させる。

7 月下旬 修士論文のレジュメを提出させたうえで、最終報告会を実施する。

主査は審査報告書を提出する。

8 月上旬 研究科委員会において審査報告書の審議を行う。

修了判定会議において修了の可否判定が行われる。

初年次は主に、研究テーマに基づく先行文献の研究に充当し、論文のスケルトンを確立することに充てられる。

2 年次より、各章の執筆に着手し、1 月の中間報告会に向けて論文の 50%の完成度を目指す。

中間報告会後は、審査委員が決定したことを受けて必要な場合、適宜副査のアドバイスを受けながら論文の執筆を進め、論文の完成を目指す。

論文草稿の提出後は、副査から求められる修正に応じて、完成論文を提出する。